

大町病院を守る会会報

No. 66

2018 年 11 月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

ありがとうメッセージ！！ 市民から職員へのエール

「天国にはジャンプして行くんだ」と言っていた父

ありがとうメッセージポストを9月7日開扉しました。多くのメッセージが寄せられました。紙面を通じ市民の感謝の気持ちを職員の皆さんにお伝えします。

◆整形伊藤先生へ

整形外科の伊藤先生に診てもらいました。他院で治療中のケガが心配で無理を言って遅い時間にもかかわらずとても親切な対応して下さい、大変うれしく思いました。

看護師さん（西澤？さん）も親身になって心配して下さい、とても感動しました。

大分ケガの心配も減り助かりました。これからもお仕事頑張ってください。ありがとうございます。（野本）

◆子どもたちから

いつもみなさんのびょうきをなおしてくれてありがとうございます。（ながのけん はくばむら みそらの いそえ このか）

◆看護師の牧野さんへ（泌尿器外来）

- ・看護師の牧野さんにお会いするのが楽しみで病院に來ています。今日も会えて元気になりました。いつもありがとうございます。
- ・看護師の牧野さん是对应も注射も上手で事務的でなく、心のこもったあいさつやおはなしをして下さいます。主人の入院の際も牧野さんのおかげで大事に至らずに済みました。本当に感謝しております。
- ・泌尿器の牧野看護師さんが移動されると聞きました。悲しくて涙が出ました。あんなにいい方は他にいません。本当に良くしてもらいました。一生忘れません。（匿名）

◆職員の皆様へ

- ・いつも温かく見守って頂きありがとうございます。感謝です。（匿名）

◆脇田先生 病院の皆様へ

3月からの入院でした。危ないと言われつつ、何度も奇跡を起こし頑張り続けた父です。いつも明るく“昇さん”と声をかけ治療や看護をして下さいありがとうございました。

父はみんなと話せること、ご飯を食べることが、とても、とても楽しかったようです。

今日眠るように息をひきとりました。最後まで見てくださったこと感謝しています。

私たちも苦しい気持ちが和らぎホッとしました。これからの先生、看護師さん達の若さ明るさやさしさで頑張ってください。「天国にはジャンプして行くんだ」と言っていた父、ジャンプしました（2018・4・14 伊東K恵・誠・智子・純子）



●外科平賀先生へ感謝の気持ち

説明がとてもていねいでやさしく説明してくれて気持ちが安らぎます。外科受付の皆様も大変親切でていねいでうれしかったです。(南澤U子)

●脳外科

私は、6/9に救急搬送され脳出血による左半身まひが出てしまいました。青木先生のすばらしい処置のおかげで命を救っていただき、病棟の看護師様初め他の介護の皆様のおかげで、毎日が希望をもってリハビリに励んでおります。リハビリ室の先生方の的確なご指導の下、どんどんと回復に向かい喜んでいきます。病院の関係者全ての方々に感謝しております。本当にありがとうございました。

せっかく救っていただいた命、今後は一層体調に気を付けて過ごしたいと思います。この御恩は決して忘れません。ありがとうございました。(西牧T子)

●お世話になりました。気になってあいさつにきます。ありがとうございます。(横山M子)

●その他

- ・赤字だというのに内科の花盛りはいらないと思いませんか

(事務局注＝造花の花盛はボランティアの皆さんが飾ってくれ、潤いとやさしさをプレゼントしてくれています。感謝！)

収穫はたくさん キノコ狩り交流会に大勢が



10月7日午前10時15分病院玄関前より車に乗り合わせ、大黒町有林で開催されている「がった祭り」にあわせ、キノコ狩り交流会に出発しました。山は今、木の葉は赤や黄色に色づき紅葉が始まってにぎやかです。

今年は雨が多かった為か、キノコの種類、量ともに多く、参加者を楽しませてくれました。三班に分かれて山に入り約50分間キノコ狩りを楽しみました。直径50cmはあろうかという大きな漏斗状のコウタケ、アマタケ、シャカシメジ、コムソウ、ジコボウ、イッポンカンコウ、サクラシメジ、ニンギョウタケ、毒キノコ沢山を取り胸を弾ませながら山を駆け下りました。キノコ判定は県きのこ衛生指導員の飯島八郎さんをお願いしました。食べられるといわれ喜んだり、毒きのこといわれがっかりしたりでした。

「がった祭り」ではマイ箸づくりや、子供の喜ぶ遊具で遊びました。もてなしのおにぎり、五平餅、焼きたてパン、ニジマスの塩焼き、トン汁、漬物、燻製の卵やチーズ、ウインナーなど満腹でした。実行委員会の皆さんありがとうございました。



参加者は勝野健一 西澤一保 清水あさひ 大日向明 降旗いずみ 相澤文人 川上晴夫 西澤千文 西澤美千夫 宮下洋子 宮下四季 宮下心 中村健吾 中村梢 中村悠矢 中村光汰 和田由美子 上條守 上條いづみ 上條愛 上條舞、上條叶和 松下直生 牧瀬明美 牧瀬裕樹 牧瀬泰子 牧瀬柑太 牧瀬笙太 西澤美穂 渋谷見博 柳澤英幸 塩原義夫 根本薫、根本一颯 根本葵衣 高橋博久以上 35 人でした。事前の下草刈りなどの準備に渋谷見博、中島一郎、大日向明の皆さんが当たりました。ありがとうございました。

イルミネーション設置、花壇設置作業に汗を流す 点灯式 11 月 30 日 18 時、コンサートは 18 時 15 分から



11 月 18 日、病院駐車場にそびえる 25m の樅の木にイルミネーションが十日会の皆さんの協力により設置されました。昨年のツリーに加え、高瀬川ホテル保存会（会長：北沢学さん）のご厚意により貸出されたイルミネーションにより更に豪華なイルミネーションになります。点灯式は 11 月 30 日（金）午後 6 時より開催します。その後南棟さくらにてイルミネーションふれあいコンサートを開催します。大勢の職員、会員の皆さんのお越しをお待ちしています。



イルミネーション ふれあいコンサートプログラム

①：ハンドベル

- ・きよしこの夜
 - ・Let It Go 「アナと雪の女王」より
- 奏 者：病院ハンドベル隊（医療技師 9 名）

②：ピアノ

- ・アナと雪の女王スペシャルメドレー 「アナと雪の女王」より
- 奏者：田中あきは（病院薬剤師）

③：ピアノ連弾

- ・くるみ割り人形 「チャイコフスキー作曲」
- 奏 者：奥原直美・小林美恵

④：琴

- ・星の小夜曲 「宮田耕八郎作曲」
 - ・ふるさと 「高野辰之作詩・岡野貞一作曲」
- 奏 者：白沢美智



大町病院地域懇談会が大町と白馬で開催される 市民は冷静沈着、大町病院は残してほしい

11月9日、大町病院主催による地域懇談会が開催され、大町会場は大町病院南棟さくら講堂に約80人が参加、白馬会場は11月16日、役場2階会議室に25人が参加しました。大町会場では、はじめに牛越徹病院開設者（市長）が挨拶、井上善博病院長（事業管理者）が「大町病院の現状と今後のあり方について」と題し講演しました。続いて太田久彦副院長・診療部長が「健康診断のすすめ～転ばぬ先の杖～」と題し講演しました。懇談会は青木俊樹副院長が座長を務めました。

井上善博院長・事業管理者の話

大北医療圏の加速する高齢化は10年後には65歳以上の人が4割となる。17年後の2035年には医療需要は8%低下し、介護需要は22%増加する。対応し高齢在宅医療、リハビリを進める。これまでの建設・改良事業（電子カルテ、耐震改修、医師住宅、南棟、MRI、CT）23億円で、借り入れの償還ピークは29年度、30年度となり返済額は年7億円。H30年度の入院外来収益は増加している。

この状況を踏まえ

- ・経営改善に向けて全職員の危機感の共有
- ・総合診療科を核とした地域医療の推進
- ・病床一般103床、地域包括ケア病棟48床、療養病棟48床、合計199床による診療報酬の増加により経営再建を図る。



大町会場で出された質問・意見

座 長：2つのテーマを踏まえ、忌憚のない意見、感想をお願いしたい。

種 山：院長は経営に疎いという話であった。院長として医療に手腕を発揮してほしい。これからの事業管理者をどうするか、開設者としてどのように考えているのか。これからの病院を救ってほしい。

八坂男性：病院にかかったことはないが、よい評判は聞かない。組織の中で手を入れることがあるのではないかと。職員を切るのではなく、モチベーションを上げること。生き残るための経営戦略が必要。外部からのメンテナンスが必要。どう生き生きと働けるのかというソフトな面での改革が必要。

座 長：働きやすい組織、モチベーションを上げることが大事という意見もある。

塩 原：ドックは大事だ。良いところを伸ばしてほしい。

女 性：検診は収益を上げる一つの方法。自己負担が重いので住民は後回しにするのではないだろうか。市の助成が必要ではないか。

市 長：ドックの利用には大きな助成をしている。国保からの補助、共済や社会保険でも同様に補助をしている。管理者の任命については人事に関わるので詳しく話せないが、突っ込んだ内容を協議しているところだ。他の病院でも医師が管理者となっているケースは圧倒的に多い。医師でない人が管理者となることは軋轢を生む。医師でない人の活用は別途検討中だ。

管理者：ベッド数の問題については、当面は現在のベッド数で良いと思う。

男 性：病院で亡くなった人の家族は、皆病院に感謝している。病院がなければ困る。モチベーションを下げないよう頑張してほしい。

女 性：赤字の問題は難しいと思うが、公立病院の使命を発揮してほしい。

西 澤：自分はこの病院で生まれた。なくなるときもここで看取ってほしい。入院経験もあるが、物心の負担を考えると大町病院は絶対に必要、なくすわけにはいかない。

栗原（男）：医業収益のうち検診関係の割合はどうなっているか。他の病院との比較はどうか。ドックなどの検診を高めてほしいので、独自の補助をしたらどうか。

事務長：検診関係は医業収益の4%程度。他病院のデータは分からない。

市 長：特定健診については、現在暫定的に無料化している。

堀議員：自分は決算に賛成した。自分の報酬をカットしてでも病院を応援したいと考えている。職員給を見直す話もあるが、市長が先頭を切ってカットする気はないか。

市 長：極めて政治的な判断となるので慎重な対応が必要だ。

白馬会場で出された質問・意見

女 性：介護している患者を大町病院へ連れて行くことが仕事です。大町病院若い医師が大勢いていい感じでした。病院内に足を伸ばして JR 電車の時間待ちができるスペースがほしい。

栗 田：大町病院は避けたほうがいいと言われている病院である。私はあえて大町病院を選び診察してもらった。医師もしっかり説明してくれて大腸がんを手術し、回復した。看護師も親切丁寧に世話をしていただいた。同じ病室で、意地の悪い患者が看護師をナースコールで何回も呼びだしてもその都度丁寧に対応してくれていた。最後は何も言うことがなくなってその患者は静かになってしまった。現在の大町病院と世間が言っているかつての病院とは全く違う。



（太田久彦副院長の住民の健康を守る積極経営戦略による病院再生の講演要旨は次号に掲載します。）

病院花壇の新規造成に汗を流す



11月18日、守る会役員が、来年4月25日～6月16日開催される信州花フェスタ2019に協賛し、病院の桜並木の石垣東側に仮称信州花フェスタ記念花壇（仮称）を作りました。オキナクサ（18株）、エビネ（23株）、チューリップ（20球）、シャクヤク（9株）、シラネアオイ（4株）、ヤマユリ（17球）、アジサイ（11本）、タチアオイ（6株）の

花が植えられ、期間中次々と咲く花を楽しめる趣向です。来年が楽しみです。

この作業は朝から落ち葉の片づけ、耕土の整地、畝立てと施肥、シートがけなどをした上での植栽となり、正午までの作業となりました。

この花壇の名前を公募します。宛先は郵便番号 398-0002 大町市大町 3130 市立大町総合病院内 病院を守る会、花壇愛称係 はがきで応募ください。締切は1月10日。



花壇造成に汗をながしてくれたのは、黒岩良介 内山博 中島一郎 大日向明 川上晴夫 神社正幸 矢口静人 柳澤英之 高橋博久 北村喜男の皆さんです。お疲れ様でした。

冬の雪遊び交流会は爺が岳スキー場で

恒例の雪遊び交流会は今年、2月11日、爺ガ岳スキー場で開催することになりました。

2月9日から3日間大町病院で医師・研修医の研修会が行われます。その研修に参加される皆さんが当企画に合流し、交流と雪遊びを楽しむものです。予定してください。

(問い合わせ先 守る会事務局次長高橋：携帯 090-4054-2747)

研修生送別会開かれる

10月22日夕方から高木哲先生の呼びかけで、桂で研修医の先生方の歓送迎会があり、高橋が出席しました。高木哲先生、尾田正仁先生は急患のため途中退席、新津義文先生、脇田隆寛先生、研修医は坂井智達先生（福岡出身・飯塚病院総合診療科）青木文哉さん（木曽出身・硬式野球が趣味）、横山優悟さん（宮崎出身・小説家芥川賞を狙う）近沢優太さん（信州新町育ち・趣味はカメラなど多彩）の皆さんでした。趣味や好物の話、大町の歴史や守る会の経過、土地・家屋、墓地の紹介など盛り上がりました。最後にまた大町病院に来てくださいとお願いをし、お開きとなりました。



研修予定者を歓迎

8月10日、来年4月から大町病院で研修を受ける予定の樋口智博さんを囲み歓迎する会が開かれました。脇田隆寛先生、山内瑛子先生、守る会高橋が出席し、「とりしん」で、焼き鳥を囲んでの開催となりました。樋口さんは東京都出身です。

会費の納入者

30年度分 （敬称略）

団体会費 長野県理容生活衛生同業組合大北支部

新規加入者 松澤絹枝（未納の方納付をお願いします）

編集後記

月に10日間も夜勤をしている看護職。
家に週2日しか帰れない医師。

そんな過酷な労働条件の医療現場。住民の健康を守るために自己を犠牲にし献身的な職員。
笑顔で接していただける幸せ。

「ありがとう」大町病院